

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会				
開催日時		令和7年6月2日（月） 開会 9:30 閉会11:30				
開催場所		つくば市立桜中学校会議室				
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	後藤 美千代、飯島 忠夫、久松 正樹 白砂 統己、米徳 康博、河田 憲作 天貝 貢、中泉 正市、宮本 孝礼、池田 由紀代 飯岡 達郎、野村 光良、中埜 貴元、水谷 浩子 栄小学校：校長 君和田 裕之 教頭 飯塚 真由美 九重小学校：校長 中原 卓治 教頭 沼野 武 栗原小学校：校長 関 美智子 桜中学校：校長 小林 力 教頭 佐藤 貴之				
	その他					
	事務局	社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏				
公開・非公開の別		☒ 公開	☐ 非公開	☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由						
議題		熟議「今年度のCS活動計画について」				
会議録署名人				確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会 2 任命書及び委嘱状交付 3 挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1) 学園運営の基本方針について (2) 各学校グランドデザイン説明及び教育活動の紹介 (3) 熟議「今年度のCS活動計画について」 (4) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 7 閉会					

＜審議内容＞ 1 開会 事務局：ただ今から、令和7年度 第1回 桜学園コミュニティ・スクール協議	
--	--

会を開会します。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。栄小 飯塚教頭先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。

2 任命書及び委嘱状交付、

事務局：続きまして、「任命書の交付」を行いたいと思います。コミュニティ・スクール協議会委員の任命書及び地域学校協働活動推進員の委嘱状は、皆様の机上に配布してあります。

お名前など御確認いただき、不備がある場合には、事務局までお申し出いただければ幸いです。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され、任期は今年度末までとなります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。皆様の任命書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様の自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

3 挨拶

事務局：それでは、今回が初めての顔合わせとなりますので、桜中学校から座席順に自己紹介をお願いいたします。

なお、お時間の都合もありますので、所属、氏名等を簡潔にお話いただけると幸いです。

桜中学校

小林、水谷、野村、中埜、佐藤、

九重小学校

米徳、中原、白砂、河田、沼野

栄小学校

君和田、飯塚、久松、後藤、飯島

栗原小

関、天貝、飯岡、中泉、池田、宮本

4 説明事項「つくば市コミュニティ・スクールについて」

事務局：続きまして「つくば市コミュニティ・スクール」について、村上から御説明させていただきます。

村上社会教育主事：本年度3年目になりました。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度を振り返ってみますと栄小学校では、金田台の生態系を守る会では後藤様から授業をしていただきました。九重小学校では、伝統文化を学ぶ機会ということで行事を設定していただきました。様々な動きが出てきたと思います。新しい委員の方もおりますので、改めてコミュニティ・スクールにつ

いて説明させていただきます。

つくば市の教育が目指すものということで、教育大綱を受けて、一人一人が幸せな人生を送ることを最上位目標としています。では、コミュニティ・スクールに係ることとして申し上げますと、保護者、学校、地域が協力して社会全体でこの最上位の目標を目指すといったことになります。つくば市のコミュニティ・スクールとは、地域と共に子供を育む学校といった捉えとしています。コミュニティ・スクールとは、子供たちのために話し合う場（コミュニティ・スクール協議会）が設置されている学校のことをコミュニティ・スクールと言います。つくば市の特徴としましては、学園制を取り入れ、中学校区に一つのコミュニティ・スクールがあるということを挙げられます。

コミュニティ・スクール協議会の中で熟議とは、話し合う場のことなのですが、多くの学園では、大きな紙に付箋を使い意見を貼り付けていく手法を取り入れています。それは、お一人お一人の意見を大事にしたいとの意図があるからです。いろいろな会議を見て回ると、発言の声の大きな方の意見が通るなどの場面が見られこともあります。よい意見を持っていても言い出せないなどの場面も見られます。皆様からは、いろいろな場面で活躍されている方々ですので、お一人お一人の意見を出していただいて、付箋紙等で可視化し、見える形にしていきたいと思えます。

この後、各校の校長先生方から学校運営基本方針といった各校のグランドデザインについて説明していただきますが、委員の皆様には御承認をいただいて進めています。学校運営について委員は意見を述べることはできるとなっていますが、様々な話し合いを進めてきましたので、そういったことが学校運営に反映されるといったことになっています。教職員の任命については、教育委員会に意見を述べることはできるとなっていますが、先進地域の話を聞いていますとそこまでたどり着けるには、何年もかかると聞いています。熟議が深まるとそのようなことも出てきます。例えば、外国籍が多い地域では、日本語指導に長けた先生が欲しいというような意見も出て、そのような先生を依頼する等の話し合いになってくるということになります。

学校評価ということで、昨年度は、学校評価から受けた課題を皆様と話し合ってきたかと思いますが、そういったことも委員の役割として含まれているということになります。

皆様は特別職の地方公務員という立場になります。委員は、営利活動、政治活動、宗教活動等の行為をしてはならないということで、禁止されています。それから、委員は、職務上知りえた秘密をもらしてはならない、職を退いたあとも同様となります。

コミュニティ・スクールの2つの動きについて説明させていただきます。

・コミュニティ・スクール協議会という話し合いの場

(桜学園の目標やビジョンの共有)

- ・地域学校協働活動

(地域学校協働活動推進委員 (C S コーディネーター) の4名が中心となつて活動)

栄小：酒井政彦委員

九重小：吉田博委員

栗原小：飯岡達郎委員

桜中：野村光良委員

活動に繋げていくためには、協議会等の話合いの場だけでは動きませんので、中心になる方々の打合せが大切となってきます。

資料の確認をさせていただきます。

- ・C S 評価ガイドライン
- ・昨年度アンケート
- ・中学生の学び支援 (三鷹市)
- ・地域学校共同活動ハンドブック

5 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

昨年度に続き委員を務めてくださっている方に、会長を引き受けていただければと思います。久松正樹委員に会長をお願いしたいと提案させていただきます。皆様いかがでしょうか。

参加委員：承認

事務局：副会長を引き受けていただける方はいらっしゃいませんか。

参加委員：水谷さんを推薦します。

事務局：水谷様の御推薦がありました。水谷様よろしいでしょうか。

水谷委員：承りました。

事務局：それでは、久松会長・水谷副会長よろしく願いいたします。荷物を持ってお席の方に御移動ください。この後は、久松会長に進行をお願いいたします。

6 協議

(1) 学園運営の基本方針について

久松会長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

桜学園長(小林校長)：学園グランドデザイン(学園要覧)の説明

それでは、私の方から桜学園のグランドデザインの説明をさせていただきます。桜学園では、3つの部会（実践研究部会、自分づくり部会、保健安全部会）それぞれに教職員が所属し、意見交換をしたり、学園の行事を企画したりして交流を図っています。

学園として大切にしていきたいことは何かというと、以前つくば市は小中一貫教育を推進していたのですが、コロナもあってトーンダウンしているところもあります。一方で本校に在籍している生徒の中にも小学校の時には問題はなかったのですが、中学校で一気に問題が噴出しているとの話もあるのですが、小学校では担任として子供のことを理解している方が一日生活しているのですが、中学校は教科ごとに人が入れ替わるので子供たちはそこにエネルギーを使っています。そういう意味では、小中の学校長や教員同士がお互いに仲良くし意見交換ができるということが極めて重要だと考えていて、昨年度から桜学園の校長会は、月1回実施し、それぞれの小学校で起きている問題を共有したり中学校で起きている問題を小学校と情報共有したりしています。言葉で言ってしまうと簡単なのですが、本当に小中連携を頑張って進めていきたいと考えています。学園要覧については後で御覧いただき、桜学園としては、小中で足並みを揃えていきたいと考えています。

(2) 各学校グランドデザイン説明及び教育活動の紹介

栄小学校(君和田校長)：栄小学校グランドデザインの説明

桜学園の目標を受けまして、栄小では、学校教育目標を「認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成」としています。この学校教育目標を目指すために校長としての学校経営理念は、「夢に向かって、いきいきと輝き 活力ある学校」そしています。先週29日に、本校では、運動会が開かれました。運動が得意な子も苦手な子も精一杯頑張る姿が見られました。学習場面を通して「分かった、できた、がんばった」ということができる学校を目指していきたいと考えています。また、教職員の半数が本校6年以下という若い職員が増えてきている状況にあります。チームで組織的に対応しながら、教員としての使命感や誇りといったものをもてるように職場環境づくりに努めていきます。本校は、たくさんのボランティアの保護者や地域の方がいらっしゃいます。コミュニティ・スクールの御協力をいただきながら、地域と連携した学校づくりを進めてまいります。

九重小学校（中原校長）：九重小学校グランドデザインの説明

本校の経営方針といたしましては、正解が予め用意されていない課題に対して、他者と共に挑むことができる人材を育てる学校ということを掲げています。「けじめ、あいさつ、おもいやり」という3つの言葉を子供たちに伝えて「けじめ」を実感させて自立した人間、「あいさつ」は、礼儀正しく自らコミ

コミュニケーションができる人間、「おもしろやり」は、多様な価値観を受け入れることができる人間、そういった人材を育てることによって今後来る予測困難な時代を歩むことができる人材を育てていくことを目指しております。そして、本年度は、学園の研究テーマを受けまして、「対話を通して、自らの考えを深めることができる探究的な学びの推進」、一方通行の教え込みの授業から、創造的な学習を日々の授業で教えていくということを目指して取り組んでおります。学校運営に関して、地域の皆様にもお力添えをいただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

栗原小学校（関校長）：栗原小学校グランドデザインの説明

本年度も学校教育目標としまして、「夢に向かって挑戦し、主体的・自律的に学ぶ栗原っ子の育成」をサブテーマとして「児童が主体的に取り組む教育活動の工夫・改善を通して」としています。グランドデザインも前年度からですが、下の方に「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育むためのプランを示しています。令和7年度も「非認知能力の醸成」にも重きを置きながら、子供たちへの働きかけ、支援をしているところです。

子供たちの幸せのために、教職員が全力を尽くすのはもちろんですが、教職員の幸せを守ることも大切なことだと考えています。学校の働き方改革も御理解いただけたら幸いです。そして、学校における教育活動を円滑に進めていくためのキーワードとして「連携」と考えております。こちらプランの中に示しております。

令和7年度は、本校にとりまして新設校の開校、それから小規模特認校の運営に向けての準備の時期です。地域の皆様や保護者の皆様のお力を賜りながら、子供たちのよりより未来のために学教教育活動を展開してまいりたいので、どうぞよろしくお願いいたします。

桜中学校（小林校長）：桜中学校グランドデザインの説明

中学校はいくつかポイントを示しながらいきたいと思います。

「生徒が自分の成長を実感できる授業」と「一人一人を認め、お互いが成長できる学級」の2つを掲げています。昨年度と変わっていません。本年度は、生徒が自分の成長を実感できるだけでなく、教師も自分の成長が実感できるような機会を特に位置付けていきたいと考えています。それから、本校は今年度、ルールメイキングを進めています。校則の改正に向けての動きを見せています。一方で、校則の改正の仕方が分からないところで、一生懸命「校則の改正」を叫んでいるところがありますので、やり方をきちんと学んでいくような活動を今年は大切にしていきたいと考えています。

それから、働き方改革の推進が各学校で叫ばれていると思うのですが、桜中学校は、「働き方改革に取り組みません。」という宣言をしています。それは、なぜかということ子供目線で働き方改革に取り組もうとしています。それはどういうことかということ、正直、校内でプロジェクト会議を行ったりすると昼休み

を無くして、子供たちの帰りを早くして、事務作業の時間を増やしましょうというような提案をされたりするのですが、「それはやる気がありません。」と伝えています。なぜかという、部活動で他校に行った時に、「来た時よりきれいにして帰ろう」「ゴミを出さない」という指導をしているのに、「自分たちが生活した場をそのままにして帰るというのは、どういうことなの、本末転倒じゃない。」というような話をしています。桜中学校は、教育の原点に返って、事務能力を向上させることと、積極的な生徒指導、子供に声をかけたり、変化に気付いたりする指導が充実していけば自ずと働き方改革に結びつくのではないかという観点で、今年度は、取り組ませていただくような形で進めさせていただいております。

グランドデザインが一番下「働き方改革の推進」の中に「対時間効果と生徒目線を意識した業務改善」とありますが、昨年度、桜中学校は、体育祭を一日開催にもどさせていただきました。様々な意見が寄せられていたのですが、生徒が一日開催の体育祭を経験したことがないのに、子供たちと「一日開催、半日開催にする」と話し合うのは、おかしいでしょうということで、「一日開催を体験させましょう。」としたのですが、昨年卒業した9年生は、たいへん満足して卒業してくれました。もしかしたら、コロナで色々なことが縮小されたのですが、本当に効果があるものは、コロナ以前にもどしていかないといけないのかなと考えています。本年度桜中学校では、まずは、教職員が一人一人の生徒のために目を動かすこと、体を動かすことを特に重要視して、学校を運営していきたいと考えています。例えば、地域の方から登校している時に「自転車の乗り方が悪いですよ。」とお声をいただいた時には、職員は次の日の朝には現場に立つというように対応していきたいと考えています。

久松会長：ありがとうございました。それでは、本年度初めてこられた校長先生方もおりますので、地域の状況を踏まえまして、学校をどんな風にしていったらよいかというような熱い思いも出たのではないかと思います。只今のことにに関して御質問や御意見などないでしょうか。

桜中学校(小林校長)：一点よろしいでしょうか。中学校が心配していることは、保護者の孤立です。ちょっと前を振り返ると、入学してくる時に何かが足りないとか、何を準備するのか分からないという時に、先輩のお父さんやお母さんにどのようにすればよいかを聞いて事足りていたのですが、学校に対する問い合わせが増えています。何かお子さんのことで、困った時に相談する相手がいません。各家庭が似たような課題をもっているもそれぞれの家庭が苦しんでいるというようなところがあって、孤立しているのではないかと思います。なので、このコミュニティ・スクールで保護者同志も繋がっていけるような機会をつくっていけたらと考えています。

久松会長：ありがとうございました。この組織自体が、地域と学校を結ぶ大きな目的がありますので、小林校長先生の御意見を参考にさせていただきたいと

思います。他にありますでしょうか。せっかくの機会ですので。

では、先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。これを踏まえて、この協議会においても、委員の皆様はグランドデザインへの承認をお願いしたいと思います。

委員の皆様には、今後、育てたい子供像に向けた手立てについて様々なお立場から御意見を頂戴できればと思います。まず、委員の皆様からグランドデザインへの御承認をいただき、今後、グランドデザインについても育てたい子供像に向かっていく上で必要な事柄があれば、一緒に考えていければと思っています。

それでは、令和7年度学園・各校のグランドデザインに御承認いただける方は拍手をお願いいたします。

委員：拍手承認

久松会長：ありがとうございます。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

続いて今年度から、地域と学校の連携事業について予算がついております。予算計画について説明していただけますでしょうか。

事務局：この後、熟議の中で各校で説明いたします。

久松会長：この後の熟議の中で学校ごとにお示してください。年間を見通して計画をお願いいたします。各学校の地域学校協働活動推進委員の方々がファシリテーターとなって進めていただきたいと思います。時間は11時を目安をお願いいたします。皆さん、よろしいでしょうか。では、よろしくをお願いいたします。

(3) 熟議

事務局：熟議のテーマですが、「今年度のCS活動計画について」というところで話し合いをしてもらいます。テーブルに大きい紙がありますので、皆さんで話し合って御記入ください。その後、テーブルごとに出た内容について、全体で共有する形で進めていきます。

・各グループでの熟議20分間

久松会長：熱心な御協議ありがとうございました。

時間になりましたので、各グループの話し合いの内容について、簡単に発表をお願いします。栄小学校からお願いします。

栄小学校

・栄市街地活性化協議会や金田台の生態系を守る会と連携した取り組みを行っています。

- ・栄市街地活性化協議会が主催しているコンサートに栄小学校の有志を参加させるという案が出ました。
- ・昨年度も実施した、金田台の生態系を守る会との連携した授業を年回2回予定しています。
- ・本年度パンフレット制作の費用を出していただけるということで、自然マップの印刷を考えています。
- ・有志による草刈りも予定しており、ガソリン代等で予算の方を使わせていただきたいと考えています。

九重小学校

- ・環境整備をおやじの会で行う予定です。今までは無償であったが、今年からは、予算が使えるので有難いと感じています。
- ・区会と学校の連携、区会を通していけると安全な形で動ける。流れとして良くなる。運動会に向けて草刈り依頼、区会の事業として、お祭りの紹介をしたいです。
- ・区長会との繋がりを持ち、地域の方に協力依頼をお願いしたいです。

栗原小学校

- ・6月12日地域の方を呼んでわくわく対話を実施予定です。
- ・防災キャンプを12月くらいに実施予定。避難所体験を水谷先生に講師として依頼しています。
- ・3年生を対象に地域のボランティアが入り、週に1回算数の学習タイムを実施しています。予算の方を使わせていただけると有難いです。

桜中学校

- ・地域にどんな方がいるのかよく分かっていないので人材バンクづくりをQRコード等で募集し、行いたいです。
- ・琴や三味線等を教えてくれる方を見つけました。
- ・職場体験学習受け入れ先を見つけたいと思います。
- ・誰でも入ってこられる学校にしたいと思います。

水谷委員：QRコードを使うととても簡単に登録できます。また、中学校だけでなく桜学園全体で講師のデータベース化ができます。

中泉委員：令和3年度区長として交通安全協会の「のぼり旗」を市道のガードレールに設置したいと「つくば市防犯交通安全課」に許可を求めたが目的外の使用とのことで許可されなかった。交通安全が目的なので柔軟な対応をしていただきたかった。

水谷委員：水辺リングを行っています。7月6日に集まって乾杯をしています。

感謝の気持ちを込めて、地域でこのような行事をしていますので、興味がある方は、参加して欲しいと思います。

久松会長：ありがとうございました。

(4) その他

久松会長：最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか。次回の開催予定日等について、桜中学校佐藤教頭先生、よろしくお願いします。

事務局：本年度、年4回のコミュニティ・スクール協議会について御連絡します。次回ですが、第2回は栄小学校で令和7年7月16日（水）9時30分からの予定です。また、第3回目は令和7年11月27日（木）9時30分からの予定です。第4回は令和8年2月9日（月）9時30分からの予定です。詳細は、追って御連絡いたします。予算がありますので、人材バンクづくりに活用しましょう。

久松会長：本日の「協議」の内容は、以上になります。また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っています。差し支えのある場合は事務局までお申し出ください。よろしくお願いします。

7 閉会

以上をもちまして、令和7年度 第1回桜学園コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度第1回桜学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年 6月2日（月）

9：30～11：30

場所：桜中学校 会議室

次 第

1 開 会

2 任命書及び委嘱状交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学園運営の基本方針について

(2) 各学校グランドデザイン説明および教育活動の紹介

(3) 熟議 テーマ「今年度のCS活動計画について」

(4) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

令和7年度 桜学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回：6月2日 月曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(3) 地域学校協働活動推進員	酒井 政彦	元栄小学校校長主任児童委員
2	(1) 地域住民	後藤 美千代	金田台の生態系を守る会代表
3	(4) 学識経験者	橋本 幸雄	栄幼稚園園長
4	(1) 地域住民	飯島 忠夫	栄地区活性化協議会代表
5	(4) 学識経験者	久松 正樹	元栄小学校長
6	(5) 各学校長	君和田 裕之	栄小学校長
7	(6) 教職員	飯塚 真由美	栄小学校 教頭
8	(3) 地域学校協働活動推進員	吉田 博	P T A会長
9	(1) 地域住民	白砂 統己	おやじの会代表
10	(1) 地域住民	片岡 均	元学校評議員
11	(1) 地域住民	米徳 康博	元P T A会長
12	(1) 地域住民	河田 憲作	妻木地区代表
13	(5) 各学校長	中原 卓治	九重小学校長
14	(6) 教職員	沼野 武	九重小学校 教頭
15	(4) 学識経験者	天貝 貢	元校長
16	(1) 地域住民	中泉 正市	元学校評議員
17	(1) 地域住民	宮本 孝礼	元学校評議員
18	(4) 学識経験者	宮本 健次	元副校長
19	(1) 地域住民	池田 由紀代	元P T A会長
20	(3) 地域学校協働活動推進員	飯岡 達郎	P T A会長
21	(5) 各学校長	関 美智子	栗原小学校長
22	(6) 教職員	山田 智久	栗原小学校 教頭
23	(3) 地域学校協働活動推進員	野村 光良	桜中後援会長
24	(1) 地域住民	中埜 貴元	
25	(1) 地域住民	水谷 浩子	元学校評議員
26	(2) 児童・生徒の保護者	布施 拓	P T A会長
27	(5) 各学校長	小林 力	桜中学校長
28	(6) 教職員	佐藤 貴之	桜中学校 教頭
29			
30			

「生きる力」の育成

協働的な
学び

人との
かかわり

地域と
ともに育む

共に学ぶ



学び合い・教え合い



学び合い・教え合い

共に磨く



桜樹音楽祭



学園あいさつ運動

共に鍛える



桜中体育祭



居住地交流



桜学園

学園要覧 令和7年度

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成



栄小学校



九重小学校



桜中学校



栗原小学校

桜学園 つくば市立

栄小学校 つくば市金田5-4 〒305-0018

<HP><http://www.tsukuba.ed.jp/~sakae/>

九重小学校 つくば市上ノ室2-1-26 〒305-0023

<HP><http://www.tsukuba.ed.jp/~kokonoe/>

栗原小学校 つくば市栗原2-0-18 〒305-0001

<HP><http://www.tsukuba.ed.jp/~kurihara/>

桜中学校 つくば市さくらの森3-2 〒305-0019

<HP><http://www.tsukuba.ed.jp/~sakura/>

TEL029-857-2037 FAX029-857-6179

<E-mail> sakae01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2036 FAX029-857-6209

<E-mail> koko01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2049 FAX029-857-6315

<E-mail> kuri01@tkb.ed.jp

TEL029-857-2038 FAX029-857-6342

<E-mail> sakura01@tkb.ed.jp

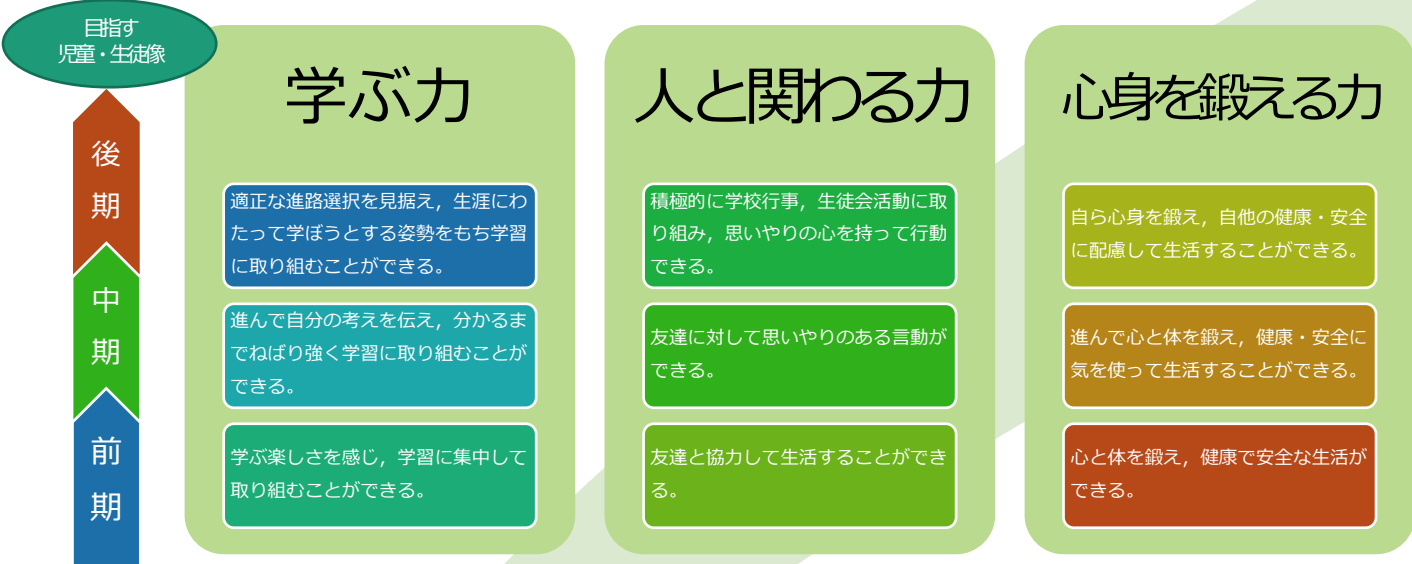
桜学園が進める小中一貫教育

つくば市教育の
基本理念

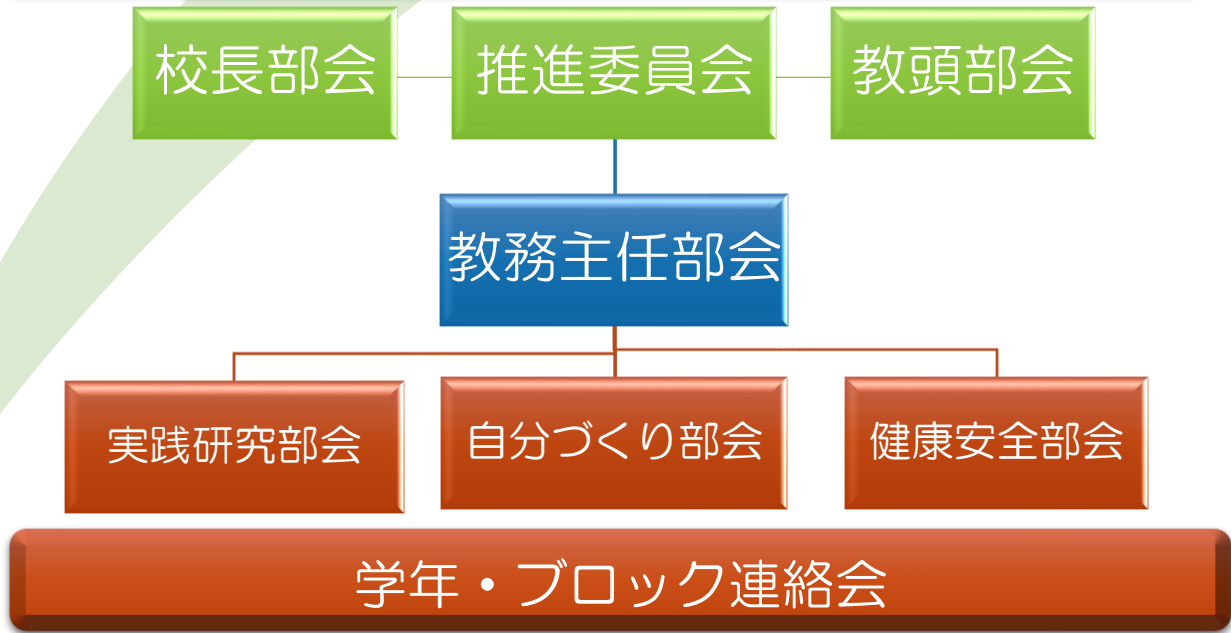
夢に向かってよりよい未来をひらく
「学び」の実現

輝く未来

研究テーマ「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」



桜学園小中一貫教育推進組織



具体的な取組

実践研究部会

- ☆主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して
- ☆「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践
- ☆「学習系統表」の活用
- ☆「学習の手引き」の活用
- ☆「UDの視点による授業改善」マニュアル活用
- ☆つくばスタイル科と各教科・領域を関連させた授業実践(キャリアパスポートの活用)
- ☆小小、小中連携した学園研修
- ☆9年間を見通した桜学園児童・生徒の学びの姿の共有
- ☆小中連携豊かな心育成事業
- ☆発信型プロジェクト学習
- ☆考えを深め合う活動



小中連携
(豊かな心育成事業)

自分づくり部会

- ☆桜学園共通 生活目標の実践
- ☆生徒指導部会での情報交換
- ☆小中連絡会(6年・7年, 6年・9年)
- ☆桜学園マナーアップ運動
- ☆桜学園いじめゼロフォーラム
- ☆みんなのやくそくファイブの実践
- ☆生徒指導系統表の活用



あいさつ運動(小中合同)

健康安全部会

- ☆桜学園共通 健康安全目標の実践
- ☆地域防災訓練の実施(引き渡し訓練, 桜学園防災連絡会議)
- ☆地域の人材を生かした防災
- ☆9年間を見通した体力づくり(体力テストの分析と体力向上の共通実践)



学園防災連絡会議

令和7年度 桜中学校グランドデザイン

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつかう
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学園教育目標】

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成

【本校教育目標】

大志と信念をもち やさしく たくましく
しなやかに生きる生徒の育成

本市の目指す学園・学校像

- みんなが幸せを実感できる学園・学校
- 「教え」から『学び』へ
 - 「管理」から『自己決定』へ
 - 「認知能力偏重」から
『非認知能力の再認識』へ

めざす生徒像

- ・自己の可能性に意欲的に挑む生徒
- ・心豊かで誠実に行動する生徒
- ・健康で活力に満ちた生徒

めざす学校像

- ・生徒にとって学びがいのある学校
- ・教師にとってやりがいのある学校
- ・保護者や地域から応援してもらえる学校

めざす教師像

- ・生徒に寄り添って歩める教師
- ・指導力と実践力のある教師
- ・保護者や地域の願いを大事にする教師

経営の理念

生徒に「夢」を 保護者に「希望」を 教師に「信頼」を

経営の基調

ミッション パッション コミュニケーション

組織目標

- 生徒が自分の成長を実感できる授業（授業力磨き）
- 一人一人を認め、お互いが成長できる学級（学級力向上）

共に 学ぶ

確かな学力の向上

- ◆能力や個に応じたきめ細やかな指導の工夫改善
- ・生徒が自分の成長を実感できる授業
- ・探究型及び課題解決型授業の充実
- ・ICT機器を活用した個別最適な学び
- ・対話を通じて養う合意的形成力
- ・「考えさせられる授業」から「考える授業」へ
- ・外部人材や地域資源の活用
- ・系統性を生かしたキャリア形成

共に 磨く

豊かな人間性の育成

- ◆生活を自分たちで改善しようとする意識や態度
- ・互いに認め合い、支え合い、高め合う学級経営
- ・「考え、議論する」道徳授業の積み重ね
- ・自治的能力や社会力の育成
- ・教育的ニーズを意識した特別支援教育
- ・人権意識を育てる環境整備
- ・生徒会、実行委員会制度の進化と充実
- ・クリティカルな視点から生まれる改善策

共に 鍛える

健康増進と体力の向上

- ◆自分の命を自分で守る積極的な取組
- ・積極的な生徒指導の推進
- ・自己判断力を育てる防災教育
- ・『命』を大切に教育
- ・SOSの出し方に関する教育
- ・共に見て、触って、揺らして確認する安全点検
- ・不登校生徒の居場所の確保（校内フリースクール）
- ・食育の推進（重要性の啓発活動）
- ・部活動の充実
- ・災害等への対応能力の育成
- ・緊急時に備えた避難所設営経験

共に 育てる

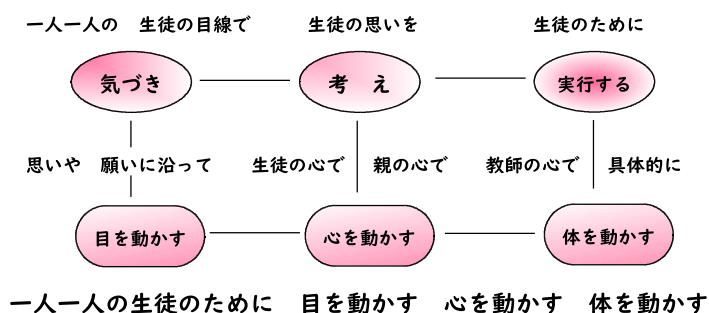
家庭・地域との連携

- ◆信頼と活力を育む開かれた学校づくり
- ・コミュニティ・スクールの実施
- ・地域と共に歩む桜中の創造
- ・地域の教育資源の積極的な発掘と活用
- ・防災、減災を意識した地域の灯台としての役割
- ・小中一貫教育の充実
- ・9年間を意識した規範意識の醸成（ルールメイク）
- ・いじめゼロフォーラムの公開
- ・地域総合防災訓練の実施
- ・職場体験学習での地域連携

学び高め合う教師集団

- ◆使命感を自覚し、専門性と指導力の向上
- ・授業力の向上に努める授業研究とOJT研修の推進
- ・Sルーム、SC、SSW等との緊密な連携
- ・チーム桜を意識した校務の運営
- ・コンプライアンス意識の高揚につながる同僚性の構築
- ・外部研修への積極的な参加

学校経営のキーワード



働き方改革の推進

- ◆目的の再認識とタイムマネジメント意識の向上
- ・積極的な生徒指導
- ・授業力の向上
- ・地域と学校の協働活動による部活動
- ・新たに創造する桜中型カリキュラムマネジメント
- ・対時間効果と生徒目線を意識した業務内容の改善

令和7年度 教育活動スローガン

夢・感動・創造への挑戦 桜中 前へ

一人一人が 大きく『夢』を描き 多くの『感動』を味わい 『笑顔』で生活できる学校

学園研究テーマ

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成
～ 主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して ～

令和7年度 つくば市立栄小学校 グランドデザイン

本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・しょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる



桜学園教育目標

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成



学校教育目標

認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

つくば市教育大綱

- ・「教え」から「学び」へ
- ・「管理」から「自己決定」へ
- ・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

学校教育推進の柱

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

目指す児童像

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

組織目標

- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
 - 自らのよさを発揮し合える居場所づくり・絆づくり
- キーワード：One for all, all for one
～ひとりみんなのために みんなはひとりのために～

学校経営理念

「夢に向かって いきいきと輝き 活力のある学校」

- 児童が充実感をもてる教育活動の推進
- 教師が使命感と誇りをもって教育にあたる職場環境づくり
- 学校と家庭、地域が連携した学校づくり

つくば市の目指す 学園・学校像

みんなが幸せを実感できる
学園・学校

～ 自己実現できる学校・
みんなで支えあい
みんなが生き生きした学校～

目指す学校像

- 児童が毎日楽しいと感じる学校
- 教職員が働きがいを実感できる学校
- 保護者や地域から信頼される学校

目指す教師像

- 自らの人間性・社会性・専門性を高めていける教師
- 児童・保護者・地域から信頼され慕われる教師
- 児童の可能性を引き出すことができる教師

学園研究テーマ

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成 ～課題設定と単元構成の工夫を通して～

学びあいプラン

《確かな学力を育む教育の推進》

- 児童の力を最大限に発揮し、伸ばしていく授業の展開
- ・児童の主体的な学びを促す多様な授業の提供や教科担任制の推進
- ・自律的な学習者の育成を目指した「教え」から「学び」への転換
- ・児童の理解を高め、思考を深める効果的なICT活用

【数値目標】

「確かな学力」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

ふれ合いプラン

《豊かな心を育む教育の推進》

- 夢・感動のある楽しい集団づくり
- ・「居場所づくり」、「絆づくり」を目指した学級経営の推進
- ・児童の主体的活動を引き出すための児童主役の学校行事の実施
- ・思いやりの心を育てる「特別の教科道徳」の指導の工夫
- ・日常生活の諸問題を自ら解決しようとする自治的能力の育成（ルールメイキング）

【数値目標】

「豊かな心」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

鍛えあいプラン

《健やかな体を育む教育の推進》

- 活力ある生活を送るための健康・体力づくり
- ・基礎体力アップを目指した運動習慣づくり
- ・運動能力向上に向けた体育科学習指導の工夫
- ・心身の健康維持に向けた自己管理能力の育成

【数値目標】

「進んで体力づくり」をしていると答える児童 80%

磨きあいプラン

《桜学園小中一貫教育の推進》

- 小中連携
- ・学園研究テーマの具現化に向けた授業研究
- ・クリーン作戦、マナーアップ運動など桜学園共同の特別活動の充実
- ・防災意識の高揚のため桜学園合同の地域防災訓練の実施
- 保幼小連携
- ・相互授業参観等の定期的な実施
- ・保幼小連絡会議の実施

【数値目標】

「小中一貫教育」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

安全で安心な学校

《安心・安全な学校環境づくり》

- ・防犯諸団体等との連携と保護者への情報提供
- ・危機管理マニュアル点検と全職員による共通理解
- ・保護者や地域と連携した学園合同防災訓練の実施
- ・安全点検の実施と速やかな対応
- ・児童の危機回避能力の育成
- ・相談体制・支援体制の充実

【数値目標】

「けが等に気を付けて自分でよく考えて行動している」と答える児童 80%

社会に開かれた学校

《信頼のある学校づくり》

- ・各種便り、学校ホームページ等による積極的な情報発信
- ・学校評価の積極的な活用

《地域と共にある学校づくり》

- ・外部人材の活用
- ・コミュニティ・スクールの積極的な推進

【数値目標】

教育活動のねらいや児童の様子が保護者によく伝わっているという評価の割合が 90%

教職員に活力がある学校

《働き方改革・メンタルヘルスケアの推進》

- ・業務内容や行事内容の精選・見直し
- ・校務のデジタル化の推進
- ・教員評価面談の充実

《教職員の資質能力の向上》

- ・教育公務員としてのコンプライアンスの遵守
- ・授業力の向上と将来を見通した自己研鑽の推奨

【数値目標】

勤務時間外在校等時間の月 45 時間以内、年間 360 時間以内

令和7年度 桜学園つくば市立九重小学校グランドデザイン

【茨城県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【校訓】
まじめになろう 人につくそう 正しく強くなろう

【学園教育目標】
夢をもち、自立して社会に貢献できる
児童・生徒の育成

【つくば市の目指す学園・学校像】
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生き生きした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

【学校教育目標】
夢や目標に向かって 自ら学び、力を合わせ、前向きに取り組む児童の育成

【目指す学校像】
・子供にとって幸せを実感できる学校
・教師にとって 能力が発揮できる学校
・家庭や地域に信頼され 開かれた学校

【目指す児童像】
「ここのえ」
こころやさしく友達に
こころをこめて何事も
のびのびチャレンジ
えがおであいさつ

【目指す教師像】
・児童一人一人を大切にする教師
・能力を十分に発揮する教師
・チームで取り組む教師

【学校経営方針】
「正解があらかじめ用意されていない課題にも他者と共に挑むことができる人財を育てる学校」
○「けじめ・あいさつ・思いやり」を胸に、笑顔で充実した生活を過ごせる学校
○教職員一人一人がその能力を十分に発揮しチームとして取り組める学校
○保護者・地域との連携・協働による地域とともにある学校

【組織目標】
「他者との対話を通して、自らの考えを深めることができる探究的な学びの推進」
○「単元構成・課題設定（問い）」の工夫と「試行錯誤・アウトプット・振り返り」の徹底
○対話的な学び・協働的な学びを進めるICTの効果的な活用
○一人一人が自己選択・自己決定できる個別最適な学びの場の設定

深め合う

- 主体的に学ぶための授業改善
・単元構成と課題設定の工夫
・試行錯誤の積み重ね
- 考えを深めるための授業改善
・対話的-協働的な学びの設定
・アウトプット-振り返りの場の設定
- 個別最適な学び
・ICTの効果的な活用
・個のニーズに応じた学びの工夫

考えを伝え深め合う授業実践
【達成目標】学校評価肯定意見85%

認め合う

- 自己肯定感・自己有用感の向上
・縦割り班活動「なかよし遊び」
・縦割り班清掃
・係・委員会の自発的活動の充実
- 他者との対話による理解
・「九重トークタイム」の実施
・「いじめ防止フォーラム」実施
- 道徳教育の充実
・「考え・議論する道徳」の実施

学校が楽しい・友達と仲が良い
【達成目標】学校評価肯定意見90%

鍛え合う

- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
・防災訓練の充実
・情報モラル・薬物乱用防止教室
- 健やかな身体づくり
・体育の時間の活動時間の充実
・外遊びの奨励
- ・食に関する教育の充実
・「ゆったりマラソン」の実施

自分の健康・安全を考えて生活
【達成目標】学校評価肯定意見85%

信頼される学校

- 安全・安心学校作り
・教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
・児童一人一人の心の居場所となる学校・学級づくり
・地域や学園と連携した学園・学校防災
- 教職員の資質向上
・働き方改革推進のための日課の工夫
(教材研究と子どもと向き合う時間の確保)
・コンプライアンスの確保とメンタルヘルス
(教職員との面談の設定)
・学園研修や校内研修の充実

信頼される学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

地域と共にある学校

- 積極的な情報発信
・HPなどを活用した情報発信、学校評価の有効活用
- 桜学園コミュニティ・スクール
・学園・学校の目標の共有化
・地域人材の活用
(おやじの会、読み聞かせ、保護者ボランティア等)
- 関係機関との連携
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用
- 外部人材の活用
・つくば科学出前レクチャー、市立図書館、租税教室等

地域と連携・開かれた学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

【桜学園研修テーマ】
「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深めあう児童生徒の育成 ～課題設定と単元構成の工夫を通して～」

令和7年度 桜学園つくば市立栗原小学校グランドデザイン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

つくば市の目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きした学校～



桜学園目標

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成
【桜学園小中一貫教育の推進】
【桜学園研究主題】
「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」
～課題設定と単元構成の工夫を通して～

学校教育目標

夢に向かって挑戦し、主体的・自律的に学ぶ栗原っ子の育成
～児童が主体的に取り組む教育活動の工夫・改善を通して～

〔学校経営の方針〕

～みんなが幸せを実感できる学校～

- 児童一人一人の「今を、そして将来をよりよく生きる」を支える学校づくり
- 社会の変化に対応し、柔軟な思考・行動・他者と協働できる児童の育成
- 自分たちの生活を自分たちでよりよいものにしようとする意識や行動力の涵養
- 未来を担う児童の育成にあたる教育者としての使命感と責任の自覚、実践的指導力の向上
- 保護者・地域の思いや願いを真摯に受けとめることによる信頼される学校づくり



〔組織目標〕

- ・「教えから学びへ」児童が主体的に学ぶ学習活動の工夫を通し、学力の向上を図る。
- ・「管理から自己決定へ」自律的に行動し、多様な他者と協働して課題解決する児童を育成する。
- ・業務改善に努め、学校の働き方改革を推進することで、教師自らが生活の質を豊かにして人間性や創造性を高め、効果的な教育活動を行う。

目指す学校像

- ・児童が学ぶ楽しさを感じる学校
- ・教職員がやりがいを感じる学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

目指す児童像

主体的・自律的に学ぶ子
自他の命・人権・思いを大切に行動する子

目指す教師像

- ・児童に寄り添い共に歩む
- ・確かな指導力と実践力
- ・保護者や地域の願いを大切に

非認知能力の醸成

みんなにここに

ひとりひとりが
きらきら輝く

連携 ～家庭・地域・学園～

- ・積極的な情報収集、情報発信
- ・地域の人的・物的資源の活用
- ・学校評価の充実・活用
- ・学園内小中・小中間の連携協力
- ・保幼との連携・接続推進

豊かな心をはぐくむために

- 【施策】
- ・学年学級経営を中核に、異年齢や多様な他者との関係構築
 - ・教育活動全体を通じた道徳教育の推進
 - ・人権意識の高揚、自他の命を大切にする心の涵養
 - ・自主的な活動を促す会社活動やルールメイキングの実践
 - ・特別支援教育の充実(ニーズに応じた適切な支援)
 - ・読書活動の推進
- 【数値目標】 学校が楽しい 90%

安全・安心な学校づくり

- ・危機管理マニュアルの共通理解
- ・安全点検の計画的実施と速やかな修繕
- ・校舎内外巡視、児童看護の徹底
- ・災害安全(防災)に係る指導の充実
- ・生活安全、交通安全に係る指導の充実
- ・登下校時の見守りの協力依頼
- ・学園防災連絡会議、引き渡し訓練の実施

わくわくのたねを
みつけて

確かな学力をはぐくむために

- 【施策】
- ・自律的な学習者の育成に向けた授業改善
 - ・自己選択・自己調整・自己決定の場の保障
 - ・児童が学ぶ楽しさを実感できる学習活動の展開
 - ・つくばスタイル科発信型 PBL 学習の推進、各教科領域への発展、体験活動の充実
 - ・教科横断的な学習活動等を通じた探究的な学びの充実
- 【数値目標】
茨城県学力診断のためのテスト 県比+2 ポイント

いきいきと
かつどう

健やかな体をはぐくむために

- 【施策】
- ・健康安全に関する自己管理能力の向上
 - ・保健安全指導、食に関する指導の充実
 - ・交通安全教室、避難訓練等の実施
 - ・性教育、薬物乱用防止教室等の計画的な実施
 - ・体育授業の工夫、運動に親しむ活動の充実
 - ・体育委員会主催体力向上プロジェクトの実施
 - ・外遊び、体力づくり等運動機会の確保
- 【数値目標】
体力テスト A+B 50%

のびのびと
まなび